

道路工夫の選奨

福岡縣土木部

本縣道路の延長は國道百八十二軒府縣道三千五百五十六軒にして之が修繕費は本年度七十三萬六千餘圓一軒當り百九十七圓餘なり而して道路工夫三百餘名を之に配屬し専ら維持修繕に當らしめつつありと雖も戰時下交通量の激増に伴ひ道路の破損甚だしく一日の安逸を許す能はざる情勢に在るを以て有らゆる機會に於て道路愛護心の鼓舞涵養に努めしむると共に毎年一回全縣下に互りて一齊に道路愛護日を定め一般縣民をして修理作業に奉仕せしめ其の成績顯著なる各種團體、學校、私人に對しては感謝狀を贈呈する等道路の維持改善上其の効果を收め居れり。

今や我帝國は大東亞戰爭の眞只中に突入し眞に未曾有の重大時局に際會し一億一心聖戰目的の完遂を期せざるべからざるの秋道路の利用は益々廣汎となり道路の維持保全は愈々緊要なるものあるに鑑み道路報國の第一線に立ち攻々として倦まず其の職域に向つて精勵しつつある道路工夫の職責は寔に重大なるは今更ら絮説

を要せざる所にして本縣に於ては昭和十六年度に於て三十名の優良道路工夫を選奨したりしが此が榮譽は一般道路工夫の督勵となり益々自重各々其の職域に邁進するの傾向を招來したるは寔に喜ばしき現象なりとす昭和十七年度は三月二十日とし縣會議事室に於て第二回目の優良道路工夫選奨式を舉行したり其の選定に當りては工夫の凡ゆる方面より觀察し成績最優秀なる者より

一等賞 二名(賞金各參拾圓)

二等賞 十三名(賞金各貳拾圓)

三等賞 十五名(賞金各拾圓)

を嚴選し右選奨者合計三十名の外尙道路工夫百三十名をも參列せしめ其の他縣會議長、福岡市長、縣町村長會長、縣參事會員、縣政記者、土木建築新聞社、縣廳内各部課長、各土木管區事務所長等百餘名の來賓ありて式場を滿たせり

午前十一時一同着席先づ國民儀禮の後選奨狀並に賞金を授與す

知事告辭縣會議長、福岡市長、縣町村會長等の祝詞、受賞者總代の答辭ありて午前十一時五十分嚴肅裡に閉式それより一同食堂に入り後藤土木部長激勵の辭を述べ和氣瀟々として午餐を共にしたる後記念撮影をなし午後一時散會す

選獎者氏名並に知事の告辭、選獎者總代の答辭左記の如し。

第二回道路工夫選獎者一覽表

福岡	建脇 熊太郎	池田 德平	三等賞
久留米	稗田 市藏	横山 重平	
柳河	島 光太郎	深町 種吉	
直方	小田 吉三郎	富安 酉之助	
行橋	渡邊 甚造	岩見孫右衛門	
前原	吉村 桂市	吉田 永太郎	
甘木	太田 林三郎	石内 棟次郎	
福高	野田 茂	稻富 知二	
折尾	早川 潔	草場 謙藏	
小倉	八木田三千一	岡本 仙太郎	
伊田	西田 末吉	清水 久平	
飯塚	近	川村 庄七	
箱崎	船越 國三郎	藤田 茂藏	
大牟田	安部 爲藏		

八 屋 小出 宇吉
計 二 名 一三名 一五名

選獎者の概要

一等賞 道路工夫 畑 (近飯塚)

昭和二年以來十六ヶ年其の職を奉じ研鑽克く努め精勵恪勤多年の習練により技能卓拔其の成績最も優秀なり

一等賞 道路工夫 小出 宇吉(八屋)

大正十三年以來十八ヶ年其の職を奉じ研鑽克く努め精勵恪勤多年の習練により技能卓拔其の成績最も優秀なり

二等賞 道路工夫 建脇 熊太郎(福岡)

大正十二年以來十九ヶ年其の職にありて勤勉克く職務に盡瘁し技能熟達し其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 稗田 市藏(久留米)

大正九年以來二十二ヶ年其の職にありて研鑽に努め精勵恪勤技能亦熟達し其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 島 光太郎(柳河)

大正十五年以來十六ヶ年其の職にありて勤勉克く職務に盡瘁し技能熟達し其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 小田 吉三郎(直方)

大正十三年以來十九ヶ年其の職にありて研鑽に努め精勵恪勤技能亦熟達し其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 渡邊 甚造(行橋)

大正十四年以來十七ヶ年其の職に從事し技能克く熟達し其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 吉村 桂市(前原)

大正十二年以來十九ヶ年其の職にありて研鑽に努め精勵恪勤技能亦熟達し其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 太田 林三郎(甘木)

大正十三年以來十八ヶ年其の職にありて克く職務に盡瘁し技能亦練達し其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 野田 茂(福島)

昭和十年以來其の職にあり忠實勤勉克く職務を遂行し技能卓拔其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 早川 潔(折尾)

大正十二年以來十九ヶ年其の職にありて勤勉克く職務に盡瘁し技能熟達し其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 八木田 三千一(小倉)

昭和十四年以來其の職にあり忠實勤勉克く職務を遂行し技能卓拔其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 西岡 末吉(伊田)

昭和十一年以來其の職にあり忠實勤勉克く職務を遂行し技能卓拔其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 船越 國三郎(箱崎)

大正十二年以來二十ヶ年其の職にありて克く職務に盡瘁し技能亦練達し其の成績優秀なり

二等賞 道路工夫 安部 爲藏(大牟田)

昭和七年以來其の職にあり忠實勤勉克く職務を遂行し技能卓拔其の成績優秀なり

三等賞 道路工夫 池田 徳平(福岡)

昭和三年以來其の職にありて精勵恪勤技能亦熟達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 横山 重平(福岡)

昭和八年以來其の職にありて精勵恪勤技能亦熟達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 深町 種吉(久留米)

大正十二年以來十九ヶ年其の職に從事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 富安 西之助(柳河)

大正十三年以來十九ヶ年其の職に從事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 岩見 孫右衛門(直方)

大正十三年以來十八ヶ年其の職に從事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 吉田永太郎(行橋)

大正十一年以來二十ヶ年其の職に従事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 石内棟次郎(前原)

大正十二年以來十九ヶ年其の職に従事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 稻富知二(甘木)

昭和九年以來其の職に従事し精勵恪勤技能亦熟練し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 松井茂(甘木)

昭和四年以來其の職に従事し精勵恪勤技能亦熟練し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 草場謙藏(福島)

昭和二年以來十五ヶ年其の職に従事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 岡本仙太郎(折尾)

昭和八年以來其の職に従事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 清水久平(小倉)

昭和十三年以來其の職に従事し精勵恪勤技能亦熟練し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 川村庄七(伊田)

大正十二年以來十九ヶ年其の職に従事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 藤田茂藏(箱崎)

昭和三年以來十五ヶ年其の職に従事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

三等賞 道路工夫 中村房藏(八屋)

大正十一年以來二十ヶ年其の職に従事し精勵恪勤技能亦練達し其の成績優良なり

告 辭

本日茲ニ第二回道路工夫選擧式ヲ舉行スルニ當リ多數來賓ノ御臨席ヲ辱フ致シマシタコトハ洵ニ感謝ニ堪ヘナイ所デアリマス

凡ソ道路ハ陸上交通機關トシテ各方面ニ分布シ地方文化ヲ表徴スルト共ニ經濟活動ノ推進力トシテ之ガ施設ノ完璧ハ直接ニ交通運輸ノ便益ヲ増進シ文化産業ノ開發ニ影響スルコトノ極メテ大ナルモノアルハ今更多言ヲ要シナイ所デアリマス

今ヤ我邦ハ大東亞戰爭ノ眞只中ニ突入シ皇軍ノ赫々タル戰果ト相呼應シ内ニ各般ノ生産力ヲ擴充シ銃後鐵壁ノ備ヘニ邁進シツツアリマスルガ就中輸送陣ノ基調タル道路ノ整備ハ焦眉ノ急務デアルクトヲ痛感スルノデアリマシテ本縣ニ於キマシテモ夙ニ最善ノ努力ヲ拂ツテ居ルノデアリマスガ事變以來交通量ノ激増セルニ不拘

資材ノ昂騰努力不足等ノ爲漸次低下ノ一路ヲ迎リツツアルコトハ
洵ニ遺憾トスル所デアリマス此ノ秋ニ當リ諸君ハ寒風雨雪ヲ厭ハ
ズ常ニ第一線ニ立チ孜々營々トシテ之ガ修理保全ニ當リ克ク本分
ヲ發揮サレツツアリマスコトハ洵ニ感謝ニ堪ヘナイ所デアリマス
玆ニ於テ諸君平素ノ勞苦ヲ犒フ意味ニ於テ特ニ技能卓拔成績優秀
ナル者ニ對シ選奨ヲ行フコトニ致シタノデアリマス

諸君ハ其ノ榮譽ヲ擔ハレマシテ寔ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリ
マス今回選奨ヲ受ケタル諸君ハ勿論ノコト其ノ選ニ入ラナカツタ
人ト雖モ選奨ハ僅カノ努力ノ差ニ過ギナイノデアリマスカラ今後
ハ尙一段ト奮勵ヲ續ケラレマシテ將來是非共此榮冠ヲ贏チ得ラレ
マスル様致サレタイノデアリマス

惟フニ大東亞戰爭ヲ勝チ抜ク爲ニハ今後幾多ノ困難ガ豫想セラレ
吾々ハ決死ノ覺悟デ御奉公申上ゲネバナラヌ秋ニ際會シテキマス
從テ諸君ノ職責モ亦益々重大サヲ加ヘテキルノデアリマスカラ今
日ノ榮冠ヲ胸深ク刻ミ込ミ同僚相率キテ將來一層道路保全ニ最善
ヲ盡シ國民利福ノ増進ニ努メ職域奉公ノ誠ヲ捧ゲラレムコトヲ切
望シテ已マナイ次第デアリマス

尙來賓方ニ於カレマシテハ今後一層ノ御後援ヲ賜ハラムコトヲ御
願致シマス。一言所懐ヲ述ベテ告辭ト致シマス

昭和十八年三月二十日

福岡縣知事從四位勳三等 本 間 精

答 辭

本日玆ニ第二回道路工夫選奨式ヲ舉ゲラレマシテ私共僥友三十名
ニ對シ選奨狀及賞金ヲ授與セラレ且ツ御懇篤ナル御訓示ヲ賜リマ
シタコトハ洵ニ身ニ餘ル光榮ト存ジマス之全ク上司ノ御懇切ナル
御指導ト御庇護ノ賜ニ外ナラヌノデアリマシテ衷心感激ニ堪ヘヌ
次第デアリマス私共ハ何等特別ノ技能ヤ豐富ナ經驗ヲ持ツモノデ
ハアリマセンガ時局下各種生産力ノ擴充ニ將又地方文化ノ向上ニ
道路ノ持ツ使命ノ重要ナルニ考ヘマシテ幸ニ惠マレタ健康ヲ保ツ
テ今後一層精勵努力職域奉公ニ精進シ以テ本日ノ榮譽ニ酬ユル覺
悟デアリマス一同ニ代リマシテ謹デ答辭ヲ申上ゲマス

昭和十八年三月二十日

選奨者總代 小 出 宇 吉

